

事業名	児童措置費	財務コード (事業)	078410
-----	-------	---------------	--------

細事業名	休日・夜間保育事業費補助金(保育対策等促進事業)
------	--------------------------

担当部課室	福祉保健 部 児童家庭 課 子育て支援 担当 (内線)	3166
-------	-----------------------------	------

事業の概要

実施期間	始期 12 年度 ~ 終期 年度		
実施主体	補助(市町村)		
事業の目的	誰(何)を対象に 休日・夜間においても保育を必要とする児童及び保護者	その対象をどのような状態にして 保育所の体制を整備することにより、保育所において処遇が確保されている。	結果、何に結びつけるのか 子育てしやすい環境づくりの推進
	<p>事業の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> 保護者の就労形態の多様化等に対応するため、休日・祝日を含め毎日開園する保育所及び夜間(午後10時まで)に保育を行う保育所に、必要な経費を補助する。 <p>事業目的</p> <p>就業形態の多様化に伴い、日曜・祝日、夜間においても保護者が就労し児童が保育に欠けている場合に対応するため、日曜日、国民の祝日等を含め年間を通じて開所する体制の整備を目的とする。</p> <p>事業主体:市町村</p> <p>補助基準額 休日保育 1,335,000円~3,172,500円(年間延べ利用児童数に応じて区分) 夜間保育 2,480,000円</p> <p>補助率 国1/3、県1/3</p> <p>H24実施保育所数 休日保育 4市5保育所(実利用人数178人 延べ利用人数1,256人) 夜間保育 1市1保育所(実利用人数68人)</p>		
事業の内容 主に 24年度			
根拠法令等	保育対策等促進事業費補助金交付要綱、山梨県保育対策等促進事業費補助金交付要綱、山梨県補助金等交付規則		

事業の目標、実施状況等(事業実績及び成果の達成状況)

事業の実施状況と 目標の実現度	23年度	24年度		25年度	26年度	事業目標の考え方	
	実績値	目標値	実績値	見込値	目標値		
活動指標	休日保育実施保育所数 夜間保育実施保育所数	5保育所 1保育所	8保育所 2保育所	5保育所 1保育所	11保育所 1保育所	14保育所 2保育所	<p>目標設定の考え方</p> <p>やまなし子育て支援プランH26年度最終目標値(各市町村積み上げ)に対する各年度目標値を設定</p> <p>データの出典等</p> <p>休日・夜間保育事業費補助金実績報告</p>
	活動指標達成率 (実績値/目標値)	60.0 %					
成果指標	休日保育実利用数 夜間保育実利用数	182人 64人	240人 120人	178人 68人	330人 70人	420人 120人	<p>目標設定の考え方</p> <p>やまなし子育て支援プランH26年度最終目標値から算出</p> <p>データの出典等</p> <p>やまなし子育て支援プラン事業実績</p>
	成果指標達成率 (実績値/目標値)	68.3 %					
決算額、予算額 (千円) うち一財額	7,891 3,948		6,593 3,297	7,819 3,910	7,856 3,928	<p>成果指標によらない成果</p> <p>休日保育は、市町村計画により後期プランの平成26年度目標を「14保育所」としている。休日保育・夜間保育の利用は、全体からすると少数ではあるが、満足度は7割と高く、特に休日保育は年間延べ1,300人の利用がある。</p>	
所要時間(直接分)	60 時間		60 時間	60 時間	45 時間		
所要時間(間接分)	0 時間		0 時間	0 時間	0 時間		
所要時間計	60 時間		60 時間	60 時間	45 時間		
人件費コスト単位:千円 (@2,050円×所要時間)	123		123	123	92		

これまでの事業の見直し・改善状況

国の補助金交付要綱の補助基準額等の改正にあわせて県の補助金交付要綱の改正を行った。

活動量と成果の判断(平成24年度の業績評価)

(1) 事業は予定された活動量を上げているか。(「活動指標の達成率」等から、事業の活動量を判断)

数値判定	活動量に係る一次評価	活動量に係る一次評価の考え方	数値判定と一次評価とが異なる場合等に記入すること
H24年度活動指標達成率		休日保育・夜間保育ともに実施する保育所数が、子育て支援プランの目標値に達していない。	
c	c		

a: 予定を超えた活動量がある(120%以上)。 b: 予定どおりの活動量がある(80%以上120%未満)。 c: 予定したほど活動量がない(40%以上80%未満)。 d: 予定した活動量に著しく足りない(40%未満)。

(2) 事業は意図した成果を上げているか。(「成果指標の達成率」、「成果指標によらない成果」から事業の成果を判断)

数値判定	成果に係る一次評価	成果に係る一次評価の考え方	必ず記入すること
H24年度成果指標達成率		休日保育は、市町村計画により後期プランの平成26年度最終目標を「14保育所」としている。休日保育・夜間保育の利用は、全体からすると少数ではあるが、満足度は7割と高く、特に休日保育は年間延べ1,300人の利用がある。成果指標達成率は68.3%ではあるが、利用者には無くてはならない保育サービスであり成果は上がっている。	
c	b		

a: 意図した成果を十分に上げている(120%以上)。 b: 意図した成果はほぼ上げている(80%以上120%未満)。 c: 意図した成果は十分ではないが、対象や方法の改善により成果の向上が見込める(40%以上80%未満)。 d: 意図した成果が十分でなく、成果を上げる方法も見あたらない(40%未満)。

見直しの必要性(平成26年度に向けた改善等の考え方)

一次評価(担当部評価結果)		
見直しの必要性	説明	以外の判断項目
有	厳しい雇用情勢の中で、多様な就業形態に対応する保育サービスの提供への必要性は高まってきており、各市町村のニーズ調査等を踏まえ、市町村に対して事業の実施を働きかけていく。 なお、休日・夜間保育事業の補助金については、交付申請・変更交付申請・実績報告における提出書類のチェックには市町村や保育所への確認などに時間を要する。	k・l

・「以外の判断項目」の欄
必要性(a.目的の達成 b.新たな課題への対応 c.対象の変化 d.ニーズの変化 e.法律・制度の改正) 官or民(f.民間等実施) 官の役割分担(g.市町村等へ移管) 効率性(h.外部委託 i.経費節減 j.類似事業と統合・連携 k.所要時間の縮減 l.プロセスの改善 m.その他

二次評価(担当部局再評価結果) 行政評価アドバイザー会議(外部評価)での指摘事項を踏まえた担当部局による再評価

見直しの必要性	説明	以外の判断項目

・「以外の判断項目」の欄は、上記と同様とする。

見直しの方向(平成26年度当初予算等での対応状況)

見直しの方向	具体的な実施計画等
実施方法等の変更	平成26年度予算は現行どおりとし、保育所や市町村に対して補助金の内容等の研修を行い、ニーズ調査による市町村計画の検討など、引き続き事業実施について市町村に働きかけていく。 なお、休日・夜間保育事業の補助金については、交付申請・変更交付申請・実績報告における提出書類のチェックには市町村や保育所への確認などに時間を要するので、事務の所要時間を短縮するため、事業内容確認や書類提出の留意点を説明する研修会等を行い、業務改善に努める。

・見直しの方向は、「廃止」「一部廃止」「終期設定」「休止」「他事業と統合」「縮小」「拡大」「実施方法等の変更」「改善済み」の中から選択し、見直しの必要性を踏まえ、具体的な実施計画等を分かりやすく記載すること。なお、見直しがない場合は、「現行どおり」と記載し、必要に応じてその理由を記載すること。